

講義名称	保育実習指導 I A	担当教員名	八幡 眞由美
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育実習 (NP) 選択必修	単 位	1
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMNP1145

授業のキーワード	保育実習の意義・目的の理解、実習の内容と課題の明確化
授業の概要	保育所実習に向けて必要な知識・技術を学びます。これまでに修得した学びを実践の場で活かせるよう実習計画・評価を行うことを目的とします。保育原理、乳児保育を履修済み、保育実習 I A を同時履修してください。
期待される学習成果 (目標)	「保育実習 I A」の意義・目的を理解するとともに、実習内容を把握し、自分自身の課題を見つけることができます。実習終了後には、実習の総括と自己評価を実施し、新たな課題や学習目標を明確化することができます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	保育実習 I A の概要	実習スケジュール、保育所実習の位置づけ
2	保育実習の意義	保育実習の意義と目的
3	保育実習の内容	実習の内容と方法
4	保育所の役割と機能	保育所の役割、養護と教育の一体化
5	保育士の専門性	保育士の職務内容と役割
6	保育所における子どもの生活	保育所における子どもの生活、3歳未満児の保育
7	実習日誌の意義と目的	実習日誌の目的、内容
8	実習日誌の書き方	実習日誌の書き方
9	実習で求められる保育実技	手遊び、読み聞かせ、紙芝居
10	指導計画と記録	指導計画の必要性
11	自己課題の決定	実習に際しての自己の課題を明確化する
12	実習に際しての留意事項	子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務、実習生としての心構え
13	実習準備	実習に向けた準備
14	直前指導	実習前最終確認
15	事後指導	実習の振り返り、自己課題の明確化

定 期 試 験	レポート
授 業 時 間 外 学 習	予習2時間 復習2時間
評 価 方 法	授業貢献度、面接評価、事前・事後レポート等を総合的に評価します。 *保育士資格取得希望者はすべての授業に出席すること。
使用する教科書 (必ず購入してください)	谷田貝公昭・大沢裕『【コンパクト版 保育者養成シリーズ】<新版>保育実習』一藝社 保育所保育指針解説書
参 考 文 献	授業内で紹介します